



2022年10月28日

各 位

会社名 中国電力株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 瀧本 夏彦
(コード番号 9504 東証プライム)
問合せ先 販売事業本部 (販売計画グループ)
マネージャー 吉谷 淳
(TEL 082-241-0211)

高圧および特別高圧の標準料金メニューの見直しに関するお知らせ

当社は、規制料金を含めた全ての料金について値上げの検討を行ってまいりましたが、本日開催の取締役会にて、高圧および特別高圧の標準料金メニューの見直しを決議しましたのでお知らせします。

なお、低圧の料金の取り扱いについては、検討結果がまとまり次第、別途お知らせします。

1. 電気料金見直しの背景

現在、燃料価格や電力市場価格高騰が続いていることにより、規制料金においては燃料費調整の上限超過が継続しており、自由化部門においても赤字となった2021年度を上回る収支の悪化が想定されます。こうした状況を受け、当社は全ての電気料金について値上げの検討に着手することとし(2022年9月13日開示済の資料「電気料金値上げの検討着手に関するお知らせ」をご参照ください。)、これまで検討を重ねてまいりました。

お知らせ以降、グループを挙げた更なる効率化の深掘りにも最大限努めてまいりましたが、燃料価格や電力市場価格は高止まりしており、収支についても依然として厳しい見通しとなっています。

当社としては、電力の安定供給に支障をきたしかねない切迫した状況が今後も続く可能性が極めて高いと判断し、高圧および特別高圧の標準料金メニューについて、基本料金や電力量料金単価などを抜本的に見直すこととしました。

2. 主な見直し内容

(1) 電気料金単価の見直し

電力市場価格の高騰など、燃料費調整には反映できない調達コストの増加などを踏まえ、経営効率化を最大限反映したうえで、基本料金単価および電力量料金単価を見直すこととし、新たな料金単価を2023年4月1日から適用します。

新たな料金単価の適用により、契約種別ごとのモデルケースでは約16~17%*の値上げになるものと試算しています。

※：実際の値上げ率は、お客さまの電気のご使用状況のほか、燃料費等調整額、再生可能エネルギー発電促進賦課金の金額等により変動するため、お客さまごとに異なります。

(2) 燃料費調整制度の見直し

2008年の高圧・特別高圧の料金見直し時の前提から、電源構成と燃料価格が大きく変化していることを踏まえ、燃料費調整額の諸元を最新値に置き換えます。また、固定価格買取制度(FIT)に基づく買取費用の変動※を調整する「市場価格調整額」を新たに設定し、燃料費調整額と合わせ、「燃料費等調整額」として電気料金に反映します。

※：当社は、2012年に開始された固定価格買取制度(FIT)による再エネ電気の買取を行っており、FIT由来の電気が2023年度電源構成に占める割合は14%程度となる見込みです。本制度では、発電事業者からのFIT買取に要する費用は、電力の調達コストに相当する費用を除いて国から交付されることとなります。本調達コスト相当の費用は、2021年度から電力市場価格に連動して算定されていますが、その変動は、現在の燃料費調整額には反映されていません。

お客さまにおかれましては、このたびの電気料金見直しにより一層のご負担をお願いすることについて、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

当社としては、今後も事業環境の変化に迅速に対応し、中国電力グループの最大の使命である、電力の安定供給に全力を尽くしてまいります。

以 上

(別紙1) 電気料金の見直しについて

(別紙2) 経営効率化への取り組み

(別紙3) 電気料金単価表

電気料金の見直しについて

2022年10月28日
中国電力株式会社

目次

はじめに 2		
I. 電気料金見直しの背景 3	2-6. 燃料費等調整額の算定諸元 17
1. 収支・財務の状況 4	2-7. 市場価格調整額によるお客さま影響 (モデル試算) 18
2. 燃料価格および電力市場価格の高騰 5	2-8. 市場価格調整額によるお客さま影響 (モデル試算) 19
3. 電源構成の変化 6	3. 高圧・特別高圧のお客さま (その他) 20
4. 託送料金の見直し 7	3-1. 料金以外の供給条件の見直し内容 21
II. 電気料金見直しの概要 8	3-2. 電気料金見直しの適用時期 22
1. 高圧・特別高圧のお客さま (電気料金単価の見直し)		3-3. お客さまへのお知らせ方法 23
1-1. 電気料金単価の見直し概要 9	4. 低圧のお客さま 24
1-2. 電気料金単価の見直しによるお客さま 影響 (モデル試算) 10	4-1. 規制料金・低圧自由料金の見直し 25
2. 高圧・特別高圧のお客さま (燃料費調整制度の見直し) 11	III. お客さまのご負担軽減に向けた取り組み等 26
2-1. 燃料費調整制度の見直し 12	1. 今冬の節電・省エネの取組み (法人・ ご家庭のお客さま向け) 27
2-2. 電源構成等の見直し・離島ユニバーサル サービス調整について 13	2. 節電・省エネ支援の取組み (法人の お客さま向け) 28
2-3. 市場価格調整について 14	3. 節電・省エネ支援の取組み (法人の お客さま向け) 29
2-4. 市場価格調整単価の算定方法 15	4. お客さまのカーボンニュートラルに向けた サービス (法人のお客さま向け) 30
2-5. 見直し後の電気料金のしくみ 16		

はじめに

当社グループは、低廉かつ安定的に電気をお届けすることが使命であり、安定供給と経営効率化への取り組みを徹底しています。

昨年度、島根原子力発電所2号機は原子炉設置変更許可を受領し、再稼働に向けた大きな節目を迎えました。また、三隅発電所2号機は11月の営業運転開始に向け最終段階を迎えており、これらの電源が稼働することで、安定供給と経営の安定化に大きく寄与するものと考えています。

しかしながら、当社の現状は、昨今の燃料価格や電力市場価格の急激な高騰により、燃料の調達や設備投資への影響も出始めており、電力の安定供給に支障をきたしかねない切迫した状況に至っています。

当社は、東日本大震災以降も規制料金については値上げの料金改定を行わず料金水準を維持してきました。また、電力市場価格の変動リスクの低減に向けた取り組みやグループを挙げた更なる効率化の深掘りにも最大限努めてきましたが、昨今の急激な調達価格高騰の影響は企業努力で対応できる限界を大きく超えています。

こうした状況を踏まえ、高圧・特別高圧のお客さまには、2023年4月1日からの料金について値上げをお願いさせていただくこととしました。また、ご家庭用をはじめとする低圧のお客さまのうち、いわゆる規制料金についても、自由料金と同時期の2023年4月からの値上げを念頭に、来月にも認可申請を行う方向で、準備を進めることとしました。

当社といたしましては、人件費の削減、資機材・役務調達コストの削減、安定的かつ低利な資金調達、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、これまで以上に徹底した経営効率化に取り組み、電気料金の見直しにあたっては、経営全般にわたる効率化による最大限のコスト削減効果を織り込んでまいります。

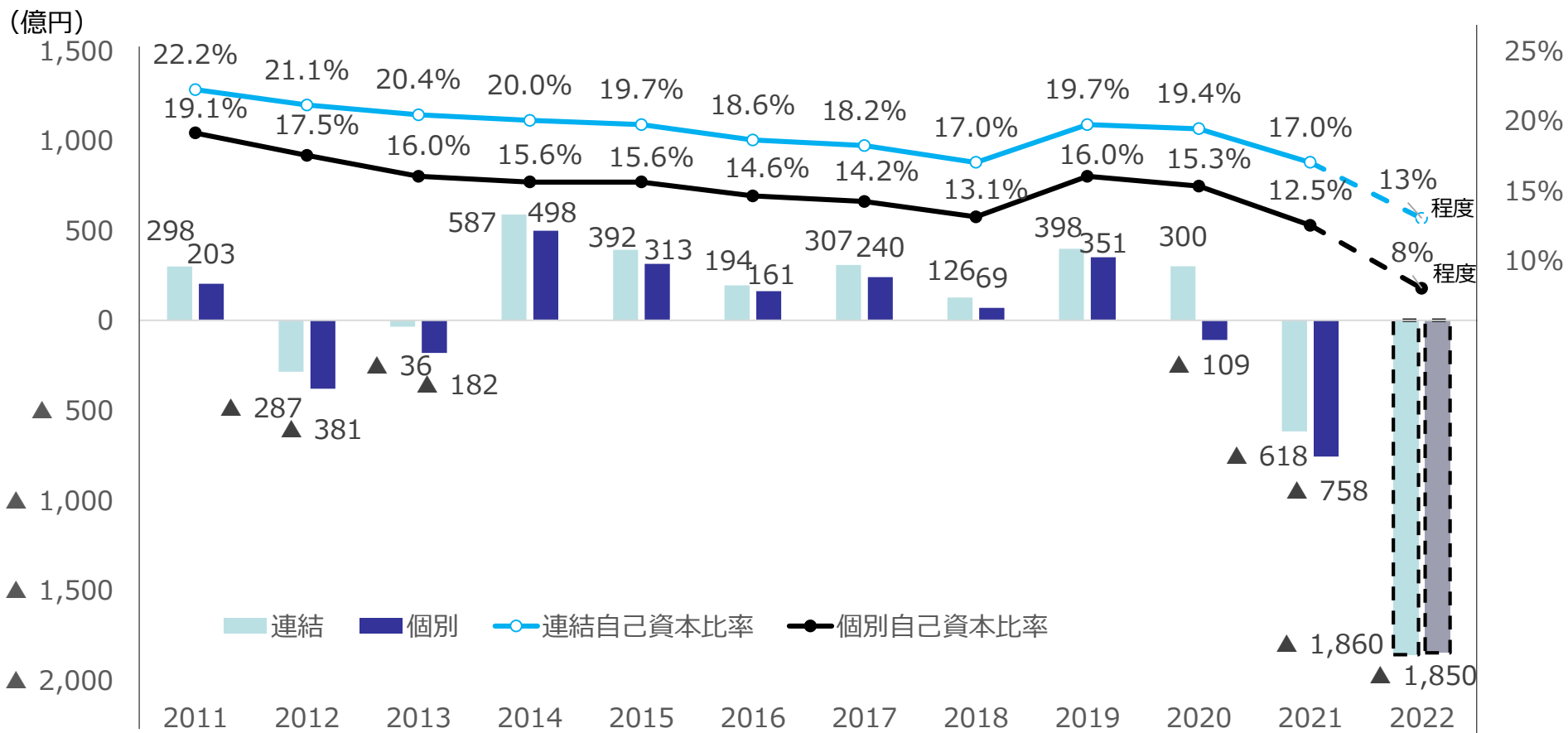
引き続き、当社グループの使命である電力の安定供給に取り組んでまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

I. 電気料金見直しの背景

1. 収支・財務の状況

- 原子力の長期停止や競争激化の中、徹底した効率化を進めてきましたが、燃料価格や電力市場価格の高騰により、2022年度は連結・個別ともに過去最大の赤字となる見込みです。
- 収支悪化により、自己資本比率の低下が継続しており、電力の安定供給の継続のために必要な燃料の調達や電力設備の更新・修繕の実施に支障をきたしかねない状況に至っています。

【経常利益、自己資本比率の推移】



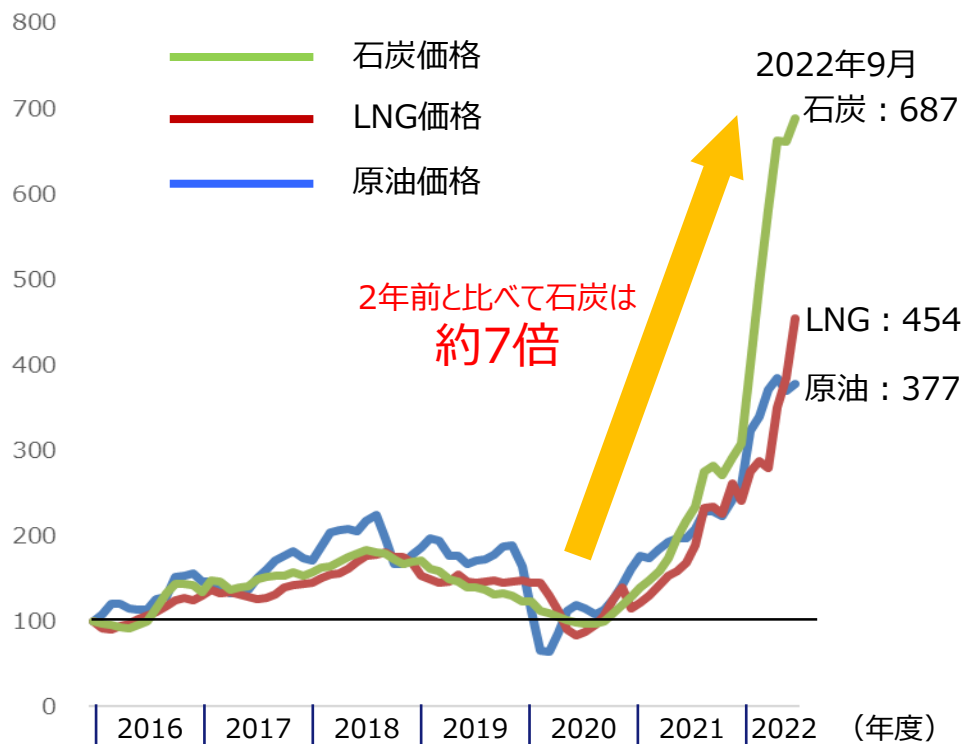
1. 電気料金見直しの背景

2. 燃料価格および電力市場価格の高騰

- 燃料価格は2020年度以降、上昇傾向にあり、2022年度はウクライナ情勢を受けてさらに高騰し、燃料費が増加しています。
- また、自社の発電設備での発電に加えて、固定価格買取制度（FIT制度）による電気の調達では、制度上、電力市場価格相当を負担しており、電力市場価格の高騰により、電源の調達費用が増加しています。

【円建て燃料価格（原油換算）の推移】

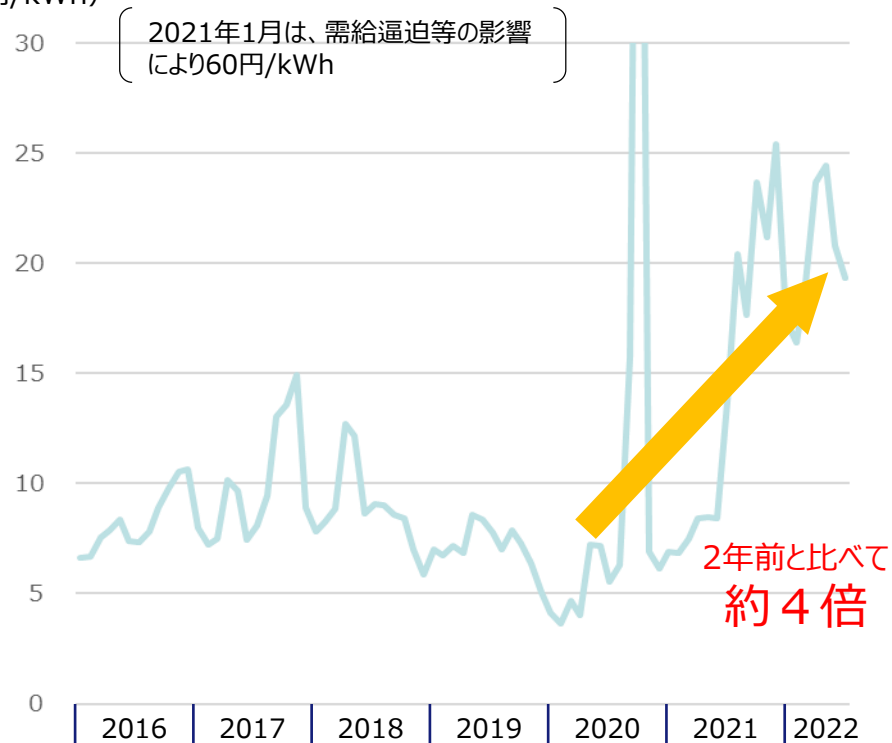
(2016年4月を100とした場合)



※財務省が公表する貿易統計に基づき作成

【卸電力取引市場価格（中国エリア）の推移】

(円/kWh)

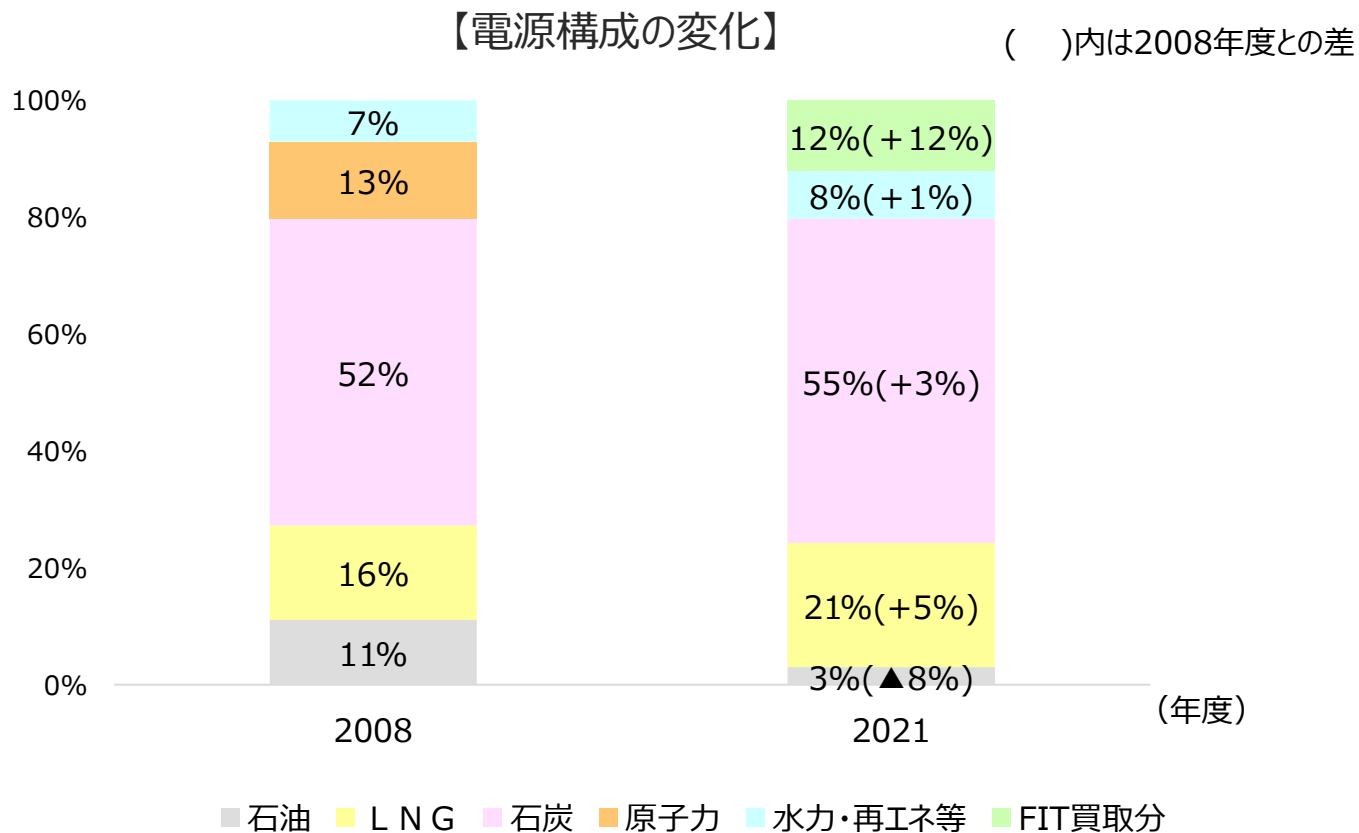


※日本卸電力取引所（JEPX）の公表値に基づき作成
 単価は中国エリアのスポット市場価格の月別の単純平均値

※FIT制度とは、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度

3. 電源構成の変化

- 当社の電源構成は、FIT制度による電気の買取量の増加や、原子力の減少により、前回料金改定を行った2008年度に比べて変化しています。
- 需給構造の変化やカーボンニュートラルの社会的要請の高まりの中、各電源の特性を生かした需給運用を行い電力の安定供給を確保し続けるためには、必要な燃料の調達や電力設備の更新・修繕を継続的に行う必要があります。



※発電所の燃料種別に基づき作成

4. 託送料金の見直し

- 2023年度から導入される新たな託送料金制度（レベニューキャップ制度）に向けて、中国電力ネットワーク(株)では託送供給等約款の見直しが予定されており、電気料金にも反映させていただく必要があります。

【（参考）レベニューキャップ制度にもとづく託送料金単価の見直し】

（円/kWh）

	現行収入単価	見直し単価	見直し影響
高圧	4.04	4.86	+0.82
特別高圧	1.85	2.11	+0.26

・中国電力ネットワーク(株)が公表（2022年7月25日）する一般送配電事業託送供給等約款算定規則に則った参考値（税抜）

【レベニューキャップ制度】

- 2020年6月に成立した「エネルギー供給強靱化法」において定められた制度で、一般送配電事業者における必要な投資の確保（送配電網の強靱化）とコスト効率化を両立させ、再生可能エネルギー主力電源化やレジリエンス強化等を図ることを目的に導入されるものです。
- 一般送配電事業者は、国の策定する指針に基づいて、一定期間（規制期間）に達成すべき目標を明確にした事業計画を策定し、取り組んでいくことで、サービスレベルの向上や効率化などを目指していくこととなります。

Ⅱ．電気料金見直しの概要

1．高圧・特別高圧のお客さま (電気料金単価の見直し)

1-1. 電気料金単価の見直し概要

- 燃料価格や電力市場価格の高騰に伴う燃料費調整には反映できない調達コストの増加や託送料金の見直しが予定されていること、安定供給のための継続した電源投資が必要であること等を踏まえ、経営効率化を最大限反映したうえで高圧・特別高圧向けの全ての電気料金単価を値上げさせていただきます。
- 主な契約種別の電気料金単価（税込）の現行料金（2022年11月分燃料費調整単価を含む）からの値上げ幅は以下のとおりです。詳細は「電気料金単価表（2023年4月1日実施）」をご確認ください。

業務用電力、高圧電力A・B、特別高圧電力A・Bのお客さま

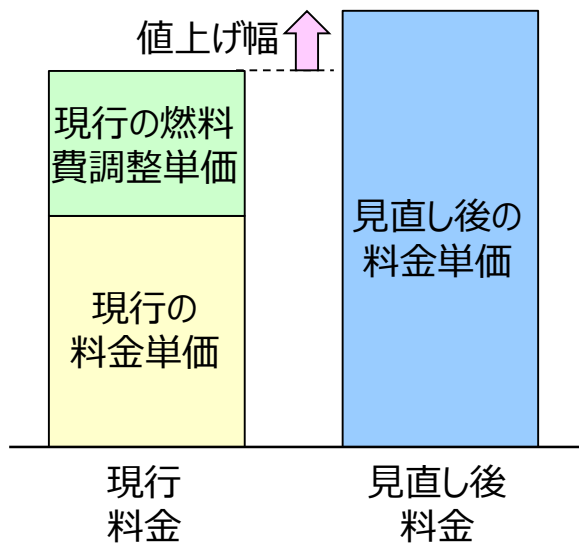
		高圧	特別高圧
基本料金単価		+ 264円00銭/kW	+ 132円00銭/kW
電力量料金単価	夏季	+ 4円46銭/kWh	+ 4円15銭/kWh
	その他季	+ 4円25銭/kWh	+ 3円96銭/kWh

業務用TOU、高圧TOU A・B、特別高圧TOU A・Bのお客さま

			高圧	特別高圧
基本料金単価			+ 264円00銭/kW	+ 132円00銭/kW
電力量料金 単価	ピーク時間		+ 4円80銭/kWh	+ 4円53銭/kWh
	昼間時間	夏季	+ 4円29銭/kWh	+ 4円12銭/kWh
		その他季	+ 4円05銭/kWh	+ 3円89銭/kWh
	夜間時間		+ 4円52銭/kWh	+ 4円05銭/kWh

1-2. 電気料金単価の見直しによるお客さま影響（モデル試算）

- 電気料金単価の値上げによる影響額は、2022年11月分料金の前提で比較すると以下のとおりです。なお、2023年4月からの料金には、見直し後の燃料費等調整単価を適用します。
- この試算額には、再エネ賦課金※を含みません。実際の料金は、その時点の再エネ賦課金や燃料費等調整額（燃料価格および電力市場価格）によって異なります。 ※再生可能エネルギー発電促進賦課金



区分	モデル	現行料金	見直し後料金	見直し影響額
高圧業務用電力(6kV)のお客さま	契約電力 : 100kW 月間電力量 : 22千kWh	72万円	84万円	+12万円 (+16.4%)
高圧電力A(6kV)のお客さま(産業用)	契約電力 : 100kW 月間電力量 : 19千kWh	61万円	71万円	+10万円 (+17.2%)
高圧電力B(6kV)のお客さま(産業用)	契約電力 : 1,000kW 月間電力量 : 280千kWh	832万円	976万円	+144万円 (+17.3%)
特別高圧電力A(20kV)のお客さま(業務用)	契約電力 : 3,000kW 月間電力量 : 840千kWh	2,377万円	2,749万円	+372万円 (+15.7%)
特別高圧電力B(20kV)のお客さま(産業用)	契約電力 : 5,000kW 月間電力量 : 1,700千kWh	4,542万円	5,283万円	+741万円 (+16.3%)

- ・消費税等相当額を含みます。
- ・現行料金には、2022年6月～8月の貿易統計価格にもとづく燃料費調整額を含みます。
- ・見直し後料金には、中国電力ネットワーク(株)の託送供給等約款（2022年7月1日実施）に定める離島ユニバーサルサービス調整額（0.02円/kWh）を含みます。
- ・力率は100%で算定しています。

Ⅱ．電気料金見直しの概要

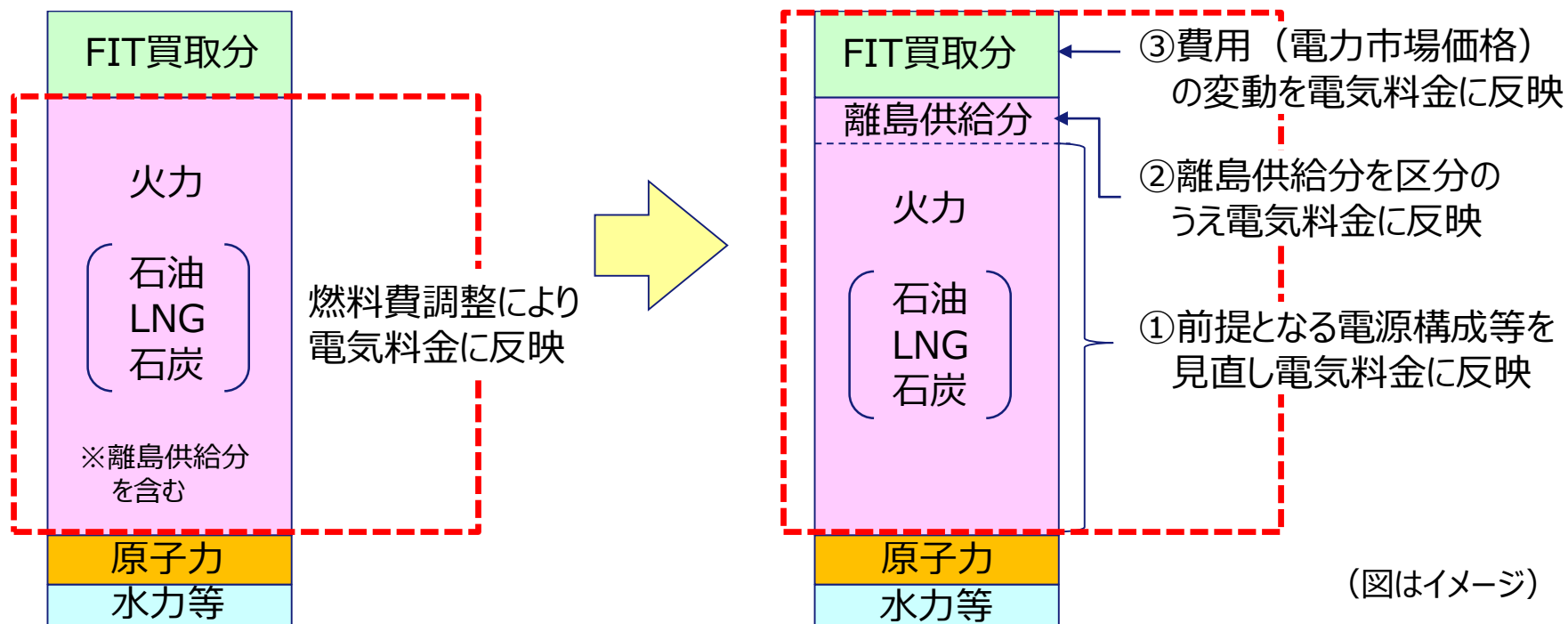
2．高圧・特別高圧のお客さま (燃料費調整制度の見直し)

2-1. 燃料費調整制度の見直し

- 燃料費調整制度とは、原油、LNG、および石炭の燃料価格の変動を、あらかじめ定めたルールにより、電気料金に反映させる制度です。
- 今回の料金見直しでは、燃料費調整制度について、以下の見直しを行ないます。
 - ① 前提となる電源構成比等の見直しによる基準燃料価格等の見直し
 - ② 省令に基づく離島供給に係る燃料費変動（離島ユニバーサルサービス調整）を区分
 - ③ FIT制度に基づく買取りに係る費用の変動を高圧・特別高圧部門の毎月の電気料金に反映

現行の燃料費調整制度

見直し後の燃料費等調整制度



2-2. 電源構成等の見直し・離島ユニバーサルサービス調整について

① 電源構成等の見直し

- 現行の燃料費調整諸元を設定した2008年度以降、電源の休廃止や三隅2号機の稼働等により、現在は原油・LNGの構成比が低下し、石炭が増加することを踏まえ、燃料費調整の算定諸元となる電源構成比等を見直します。

	原油	LNG	石炭	基準燃料価格
現行	15%	19%	66%	26,000円/kl
見直し後	4%	14%	82%	75,400円/kl
差	▲11%	▲5%	+16%	+49,400円/kl

② 離島ユニバーサルサービス調整

- 従来、燃料費調整に含まれていた離島供給に係る燃料価格変動について、省令に基づき離島ユニバーサルサービス調整額として区分して設定します。
- 調整額は、中国電力ネットワーク(株)の託送供給等約款に定める離島ユニバーサルサービス調整単価に基づき算定します。なお、これによりお客さまに追加の料金負担が生じるものではありません。

【離島ユニバーサルサービス調整制度】

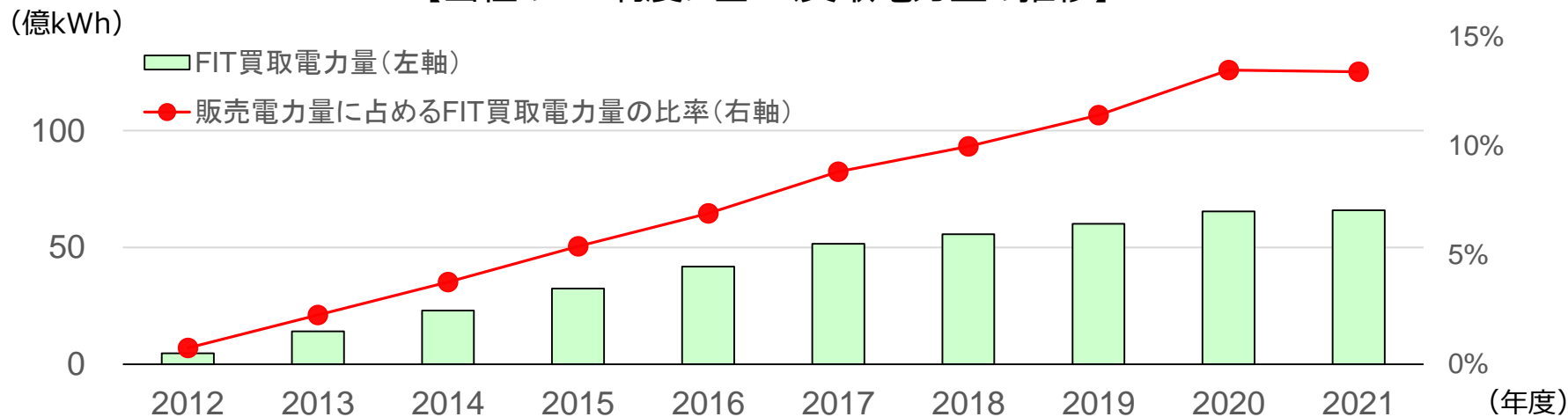
- 2016年4月、一般送配電事業者は、需要家保護の観点から離島の需要家に対するユニバーサルサービスとして本土並みの料金水準で電気の供給を行なうことが義務付けられました。
- これを受け、離島供給に係る火力燃料費の変動を託送料金に反映して、全てのお客さま（本土・離島）に負担していただく仕組みとして離島ユニバーサルサービス調整制度が導入されました。

2-3. 市場価格調整について

③ 市場価格調整

- FIT制度による再生可能エネルギー導入が増加してきたことにより、当社は、電力市場価格相当を負担するFIT電気の買取が増加しています。電力市場価格は燃料価格や需給状況によって変動が大きく、こうしたルールに基づき負担する電力市場価格の変動分について適切に料金に反映させるものです。

【当社のFIT制度に基づく買取電力量の推移】



【再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT制度）】

- 再生可能エネルギーの普及促進を図るために導入された固定価格買取制度は、再生可能エネルギーを用いて発電した電気を電気事業者が固定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度です。
- 買い取りを行う電気事業者は、国が定めたルールに従い、FIT制度に基づく電気（FIT電気）の買取価格のうち、電力市場価格*相当を負担しています。

* 一般社団法人日本卸電力取引所（JEPX）が公表する翌日取引および時間前取引の時間帯毎の取引量による加重平均価格

2-4. 市場価格調整単価の算定方法

【平均市場価格が基準市場価格※1を下回る場合】

■ 市場価格調整単価 = (20.81円/kWh - 平均市場価格) × 調整係数※2

【平均市場価格が基準市場価格※1を上回る場合】

■ 市場価格調整単価 = (平均市場価格 - 20.81円/kWh) × 調整係数※2

※1 2022年6月～8月の電力市場価格を基に設定した市場価格調整の基準値（20.81円/kWh）。

※2 平均市場価格の変動を市場価格調整単価へ反映させる割合に、託送損失率および消費税率を反映したものです。
（高圧:0.162、特別高圧:0.158）

平均市場価格は、太陽光とその他再生可能エネルギーの発電時間が異なることを踏まえ、次により算定します。

● 平均市場価格 = $X \times x + Y \times y$

X = 3か月間の電力市場価格※の全日平均値

Y = 3か月間の電力市場価格※の昼間平均値（太陽光の主な発電時間である8時から16時）

x = 0.1316

y = 0.8684

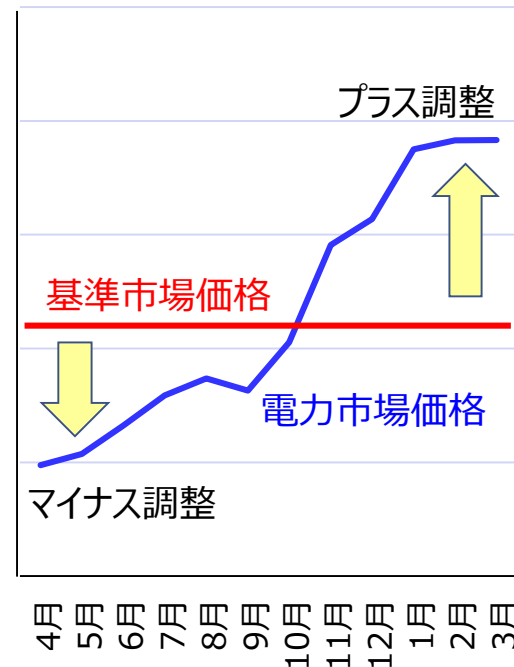
※ 電力市場価格は、一般社団法人日本卸電力取引所が公表する翌日取引および時間前取引の、時間帯毎の取引量による加重平均価格のうち、中国エリアに適用されるもの

（イメージ）

11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
11月1日～1月31日の平均市場価格			4月分料金			
	12月1日～2月28日の平均市場価格		5月分料金			

【市場価格調整のイメージ】

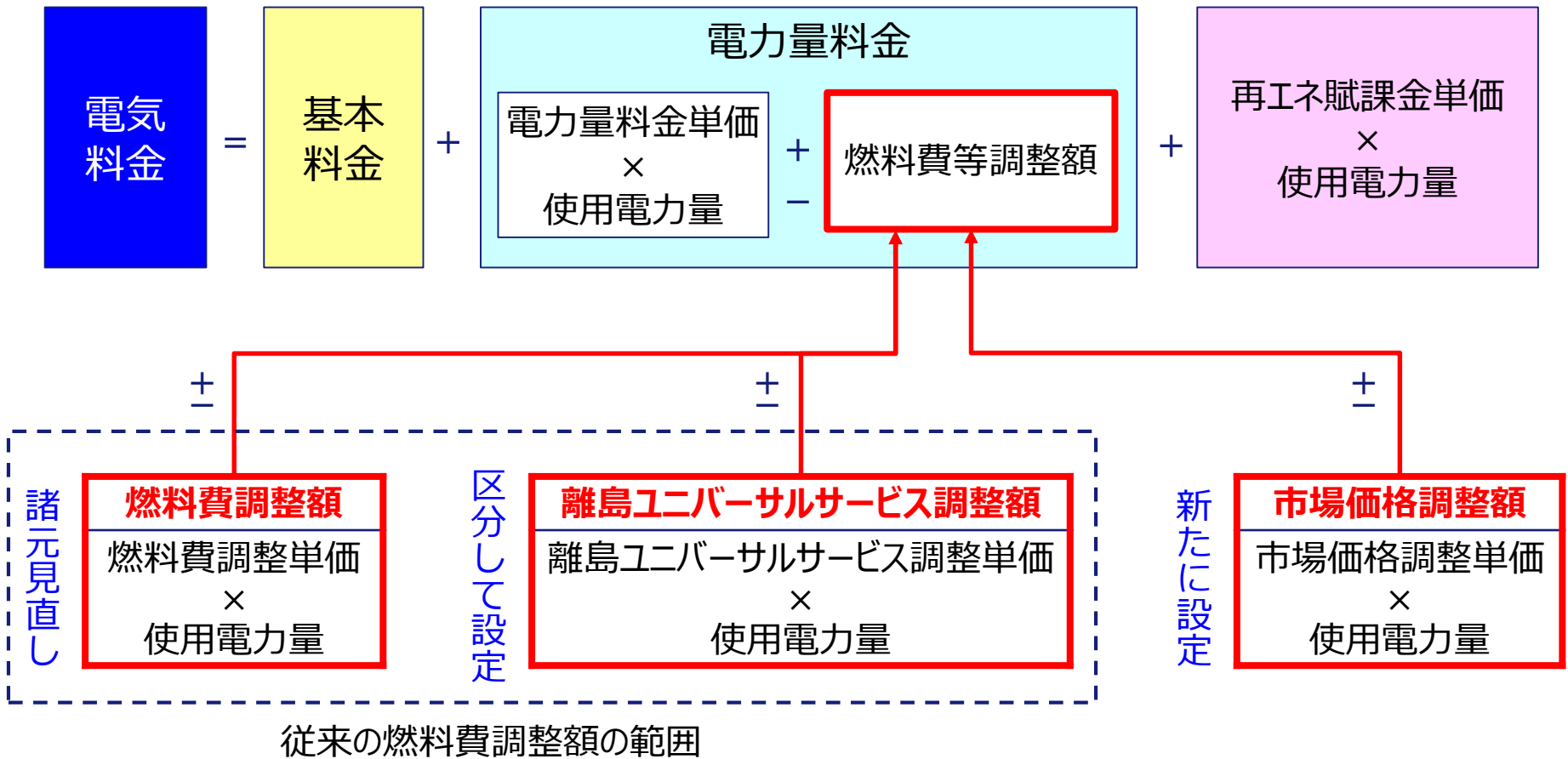
（円/kWh）



2-5. 見直し後の電気料金のしくみ

- 今回の見直しにより、燃料費調整額・離島ユニバーサルサービス調整額・市場価格調整額を合計した額を燃料費等調整額として、電力量料金に反映します。

見直し後の電気料金のしくみ



2-6. 燃料費等調整額の算定諸元

- 以下のとおり、燃料費調整単価の算定諸元を見直すとともに、市場価格調整単価の算定諸元を設定します。なお、離島ユニバーサルサービス調整単価の算定諸元は、中国電力ネットワーク(株)が定める託送供給等約款によるものとします。

		現行	見直し後	
燃料費 調整単価	基準燃料価格	26,000円/kl	75,400円/kl	
	基準燃料単価	高圧	23銭4厘	20銭5厘
		特別高圧	22銭7厘	20銭0厘
	換算係数	α (原油)	0.1543	0.0406
		β (LNG)	0.1322	0.0982
		γ (石炭)	0.9761	1.2015
市場価格 調整単価	基準市場価格	—	20円81銭	
	調整係数	高圧	—	0.162
		特別高圧	—	0.158
	換算係数	x (24時間)	—	0.1316
		y (8時～16時)	—	0.8684
(参考) 離島ユニバーサル サービス調整単価※	離島基準燃料価格	—	42,600円/kl	
	離島基準燃料単価	高圧	—	1厘
		特別高圧	—	1厘
	離島換算係数	α (原油)	—	1.0000
		β (LNG)	—	0.0000
		γ (石炭)	—	0.0000

※ 中国電力ネットワーク(株)が定める託送供給等約款（2022年7月1日実施）の値を記載しています。
託送供給等約款が変更された場合は、変更後の値を適用します。

2-7. 市場価格調整額によるお客さま影響（モデル試算）

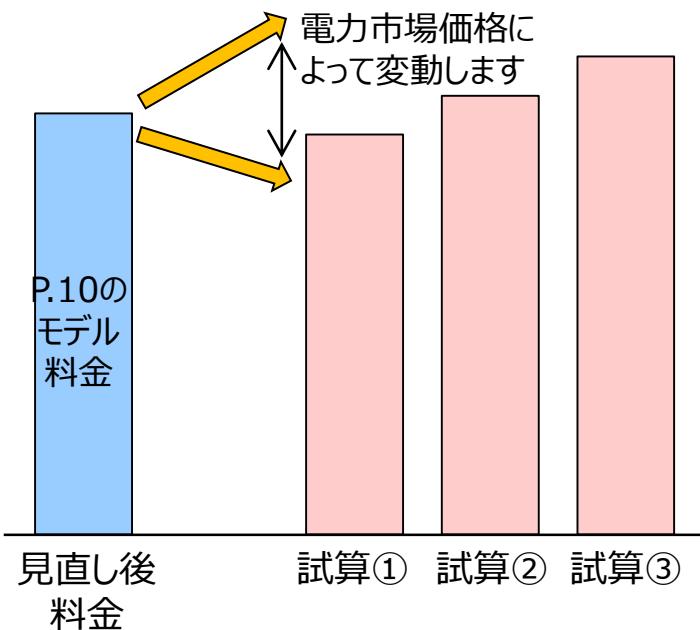
- 燃料価格や電力市場価格が2022年6月～8月平均価格よりも上昇した場合、2023年4月分の電気料金から燃料費等調整額のご負担が生じる可能性があります。
- 将来の燃料価格や電力市場価格を想定することは困難ですが、一定の前提における、市場価格調整額の電気料金への影響は以下のとおりです。

高圧のお客さま

【試算の前提】

- ①：平均市場価格が10.00円/kWhの場合
- ②：平均市場価格が30.00円/kWhの場合
- ③：平均市場価格が50.00円/kWhの場合

市場価格調整後の料金



区分	モデル	市場価格調整後の料金
高圧業務用電力 (6kV)のお客さま 【見直し後料金】 ：84万円	契約電力 ：100kW 月間電力量 ：22千kWh	①80万円（▲4万円）
		②87万円（+3万円）
		③94万円（+10万円）
高圧電力A (6kV)のお客さま 【見直し後料金】 ：71万円	契約電力 ：100kW 月間電力量 ：19千kWh	①68万円（▲3万円）
		②74万円（+3万円）
		③80万円（+9万円）
高圧電力B (6kV)のお客さま 【見直し後料金】 ：976万円	契約電力 ：1,000kW 月間電力量 ：280千kWh	①927万円（▲49万円）
		②1,017万円（+41万円）
		③1,108万円（+132万円）

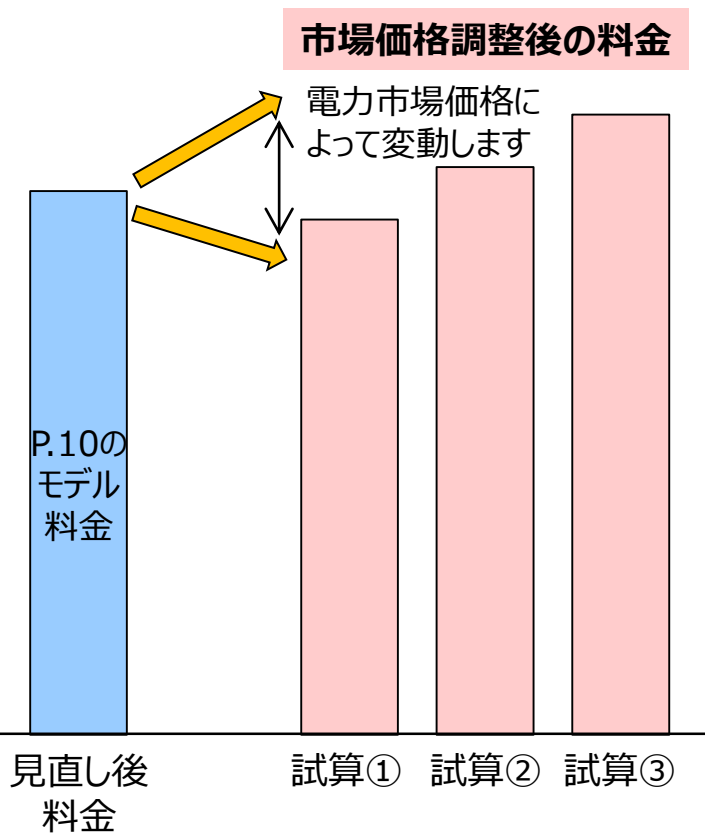
- ・消費税等相当額および燃料費等調整額のうち離島ユニバーサルサービス調整額（0.02円/kWh）を含み、燃料費調整額および再エネ賦課金は含みません。
- ・力率は100%で算定しています。

2-8. 市場価格調整額によるお客さま影響（モデル試算）

特別高圧のお客さま

【試算の前提】

- ①：平均市場価格が10.00円/kWhの場合
- ②：平均市場価格が30.00円/kWhの場合
- ③：平均市場価格が50.00円/kWhの場合



区分	モデル	市場価格調整後の料金
特別高圧電力A (20kV)のお客さま 【見直し後料金】 ：2,749万円	契約電力 ：3,000kW 月間電力量 ：840千kWh	①2,605万円（▲144万円）
		②2,871万円（+122万円）
		③3,136万円（+387万円）
特別高圧電力B (20kV)のお客さま 【見直し後料金】 ：5,283万円	契約電力 ：5,000kW 月間電力量 ：1,700千kWh	①4,992万円（▲291万円）
		②5,529万円（+246万円）
		③6,067万円（+784万円）

- ・消費税等相当額および燃料費等調整額のうち離島ユニバーサルサービス調整額（0.02円/kWh）を含み、燃料費調整額および再エネ賦課金は含みません。
- ・力率は100%で算定しています。

Ⅱ．電気料金見直しの概要

3．高圧・特別高圧のお客さま （その他）

3-1. 料金以外の供給条件の見直し内容

業務効率化等のための見直し

【供給停止、中止、制限期間中の料金の割引（制限中止割引）の廃止】

- 制限中止割引は、主に一般送配電事業者の都合によりお客さまの電気の使用が制限される場合（自然災害に伴う送配電設備の故障や設備保全工事等による停電）に、基本料金の一部を割り引くものです。

2020年4月の一般送配電事業の分社化により、送配電設備の保安は一般送配電事業者が行なっていることや、業務運営の効率化を図り、電気料金の低減につなげるため、制限中止割引を廃止します。

【再エネ賦課金単価および燃料費等調整単価のお知らせ】

- 当社事業所の集約化やインターネットの普及等を踏まえ、再エネ賦課金および燃料費等調整の単価のお知らせ方法を、事業所掲示から当社ホームページ等への掲載に変更します。

制度・法令変更に伴う見直し

【配電事業者の規定】

- 2022年4月から、配電事業者が、特定区域において系統運用を行うことが可能となったことを踏まえ、当該区域のお客さまにも電気契約要綱を適用することを規定します。

【指定区域に離島等供給約款が適用される場合の契約期間の規定】

- 2022年4月から、山間地等の独立した特定区域（指定区域）が、一般送配電事業者の離島等供給約款の対象となったことを踏まえ、当該区域のお客さまとの契約期間の終期は、原則として、離島等供給が開始される日の前日とすることを規定します。

【需給契約の単位の見直し】

- 託送供給等約款において、契約の単位の規定が見直されたことから、需給契約の単位の規定を見直します。

【法令の名称を変更】

- 再エネ賦課金に係る法令名の変更を反映します。

3-2. 電気料金見直しの適用時期

- 今回見直す新たな料金および燃料費等調整制度等は、2023年4月1日以降の料金に適用します。

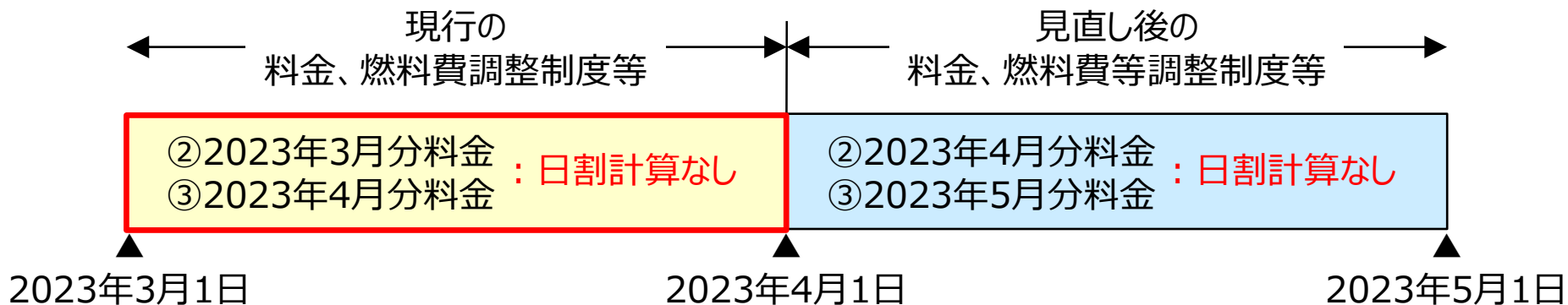
（料金適用のイメージ）

①高圧（500kW未満）かつ計量日が毎月1日ではないお客さま



※ スマートメーター設置済のお客さまの電力量料金は、各期間ごとの使用電力量に基づき算定します。

②特別高圧／高圧（500kW以上）のお客さま ③高圧（500kW未満）かつ計量日が毎月1日のお客さま



3-3. お客さまへのお知らせ方法

【現在、当社とご契約中のお客さま】

- 高圧・特別高圧で当社とご契約いただいているお客さまには、2022年11月から順次、電気料金等の見直し内容や料金試算等について、書面での郵送等によりご案内いたします。

【当社へご契約先切替を希望されるお客さま】

- 中国電力ネットワーク(株)を含む他の事業者から電気の供給を受けているお客さまが、当社への契約切替をご希望される場合は、2023年1月頃から、原則、見直し後の電気契約要綱によりお申し出をお受けする予定ですが、具体的な申込方法等は別途、当社ホームページでお知らせいたします。供給開始は2023年4月1日からを予定しています。
- なお、電気の需給状況、需給契約のお申込み内容、料金のお支払状況その他によってやむをえない場合には、ご希望に添えないことがありますので、予めご了承ください。

Ⅱ．電気料金見直しの概要

4．低圧のお客さま

4-1. 規制料金・低圧自由料金の見直し

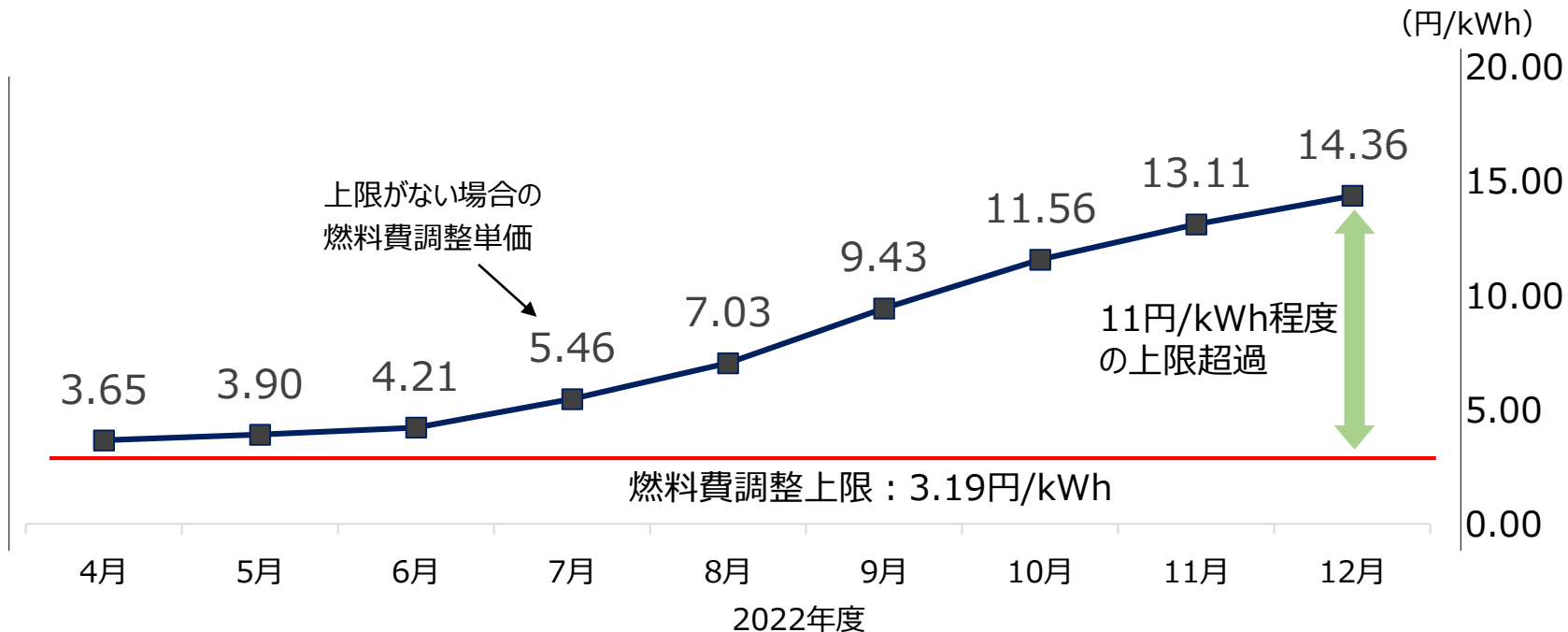
【規制料金のお客さま（従量電灯A、低圧電力 など）】

- 燃料価格の高騰に伴い、12月分燃料費調整では上限超過が11円/kWh程度に至っており、この水準は、現在お客さまにご負担いただいている料金の3割台半ばに相当します。
- このような状況から、高圧・特別高圧同様に値上げをお願いさせていただくほかなく、2023年4月からの値上げを念頭に、来月にも認可申請を行う方向で準備を進めることとしました。

【低圧自由料金のお客さま（スマートコース、電化Styleコース など）】

- 低圧自由料金についても、電源構成の変化等を反映する料金の見直しを検討しています。

【燃料費調整上限を超過する単価の推移】



Ⅲ. お客様のご負担軽減に向けた取り組み等

1. 今冬の節電・省エネの取組み（法人・ご家庭のお客様向け）

- 今夏は、「ぐっとずっと。クラブ」会員を対象とした節電キャンペーンを実施しましたが、今冬は、従量電灯Aなどの規制料金メニューのお客様や高圧・特別高圧のお客様にも対象を拡大し、国の補助事業※1を活用した「冬の節電プログラム」を実施します。
※1 経済産業省「電気利用効率化促進事業」
- 11月1日に申込方法など制度の詳細を公表し、申込受付を開始するよう、準備を進めています。

〔 2022年度「冬の節電プログラム」概要 〕

実施期間	2022年12月1日（木）～2023年3月31日（金）
申込締切	2022年12月31日（土）まで
プログラム内容	<p>(1) 国の補助事業による参加特典 申込期間中に参加申し込みをされたお客様に、特典を進呈 〔低圧〕 <u>2千円相当（契約単位）</u> 〔高圧・特別高圧〕 <u>20万円相当（契約単位）</u></p> <p>(2) 国の補助事業による達成特典※2 前年同月の使用量と比べ3%以上の節電を達成されたお客様に、特典を進呈 〔低圧〕 <u>1千円相当（契約単位）</u> 〔高圧・特別高圧〕 <u>2万円相当（契約単位）</u></p> <p>(3) 抽選特典 前年同月の使用量と比べ3%以上の節電を達成されたお客様の中から、<u>抽選で特典を進呈</u></p>

※2 現在、国に申請中。

Ⅲ. お客さまのご負担軽減に向けた取り組み等

2. 節電・省エネ支援の取り組み（法人のお客さま向け）

- 当社ホームページで、設備ごとの節電・省エネ手法や取り組み事例を紹介しています。
- 地元企業などとも連携しながらセミナーを開催し、省エネ・脱炭素化に関する政策動向や最新技術・機器および取り組み事例などについて情報発信を行っています。
- 2022年度の脱炭素セミナーでは、ホームページをはじめTwitterなども活用しながら幅広く呼び掛けるとともに、セミナーの内容のWEB配信やアーカイブのYoutubeへの掲載などを通じて、より多くの皆さまへお届けしています。

【節電・省エネ手法や事例等のご紹介】

【セミナー等による情報発信】



3. 節電・省エネ支援の取組み（法人のお客様向け）

- ① 原則、高圧500kW以上のお客様を対象に、豊富な経験と知識を持ったスタッフが、お客様のエネルギー使用状況を見える化のうえ、ヒートポンプをはじめとした高効率機器への更新提案など、お客様に応じた省エネ・コスト削減策をご提案させていただきます。
- ② 当社グループ企業の商品・サービスのご提供を通じて、お客様の省エネ・コスト削減策をサポートさせていただきます。
- ③ 空調機を自動制御することにより最大需要電力および電力量の低減につながる空調機自動制御デマンドコントロールシステムをご紹介します。

① エネルギー診断

（実施内容によっては、診断費用がお客様負担となる場合があります）

（例）エアリーク調査

配管等の圧縮空気の漏れを専用機器を活用して見える化。



そのほか、お客様の実態に応じた診断メニューをご用意しています。

② グループ企業の商品・サービス

（例）空調室内機洗浄

（エネルギーL & Bパートナーズ）

（洗浄費用はお客様負担となります）



そのほか、照明LED化（中電工）など、当社グループでサポートさせていただきます。

③ 空調機自動制御デマンドコントロールシステム

（設備導入の費用はお客様負担となります）



【概要】

お客様の電力を常時監視し、予め設定したデマンドの目標値を超えないように空調機を自動制御

【仕組み】



4. お客様のカーボンニュートラルに向けたサービス（法人のお客様向け）

- お客様のカーボンニュートラルを実現するため、お客様の敷地内や敷地外に太陽光発電設備や蓄電池を設置し「グリーン電力」を供給するサービス（①、②）や、お客様が使用される電気のCO2排出量をオフセットする電気料金メニュー（③、④）をご用意しています。

● 新たに開発した太陽光発電設備等



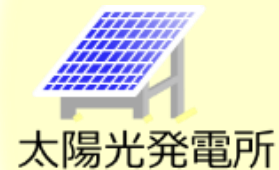
② オフサイト太陽光発電特約

● 既存の再エネ発電設備



水力発電所

③ 再エネ特約



太陽光発電所

④ 再エネ特約 ＜プレミアム＞



バイオマス発電所

トラッキング付
非化石証書

Energia
中国電力

電力システムを
介して供給

お客様



自家消費

① 太陽光発電PPAサービス （オンサイト型）

経営効率化への取り組み

2022年10月28日
中国電力株式会社

1. 高圧・特別高圧の電気料金に織り込む経営効率化額

- 高圧・特別高圧の電気料金の見直しにあたっては、お客さまのご負担を少しでも軽減させていただくため、これまでの取り組みに加え電源設備形成を含めた経営全般にわたる効率化によるコスト削減効果350億円程度を織り込んでいます。

【高圧・特別高圧の電気料金に織り込む経営効率化額】

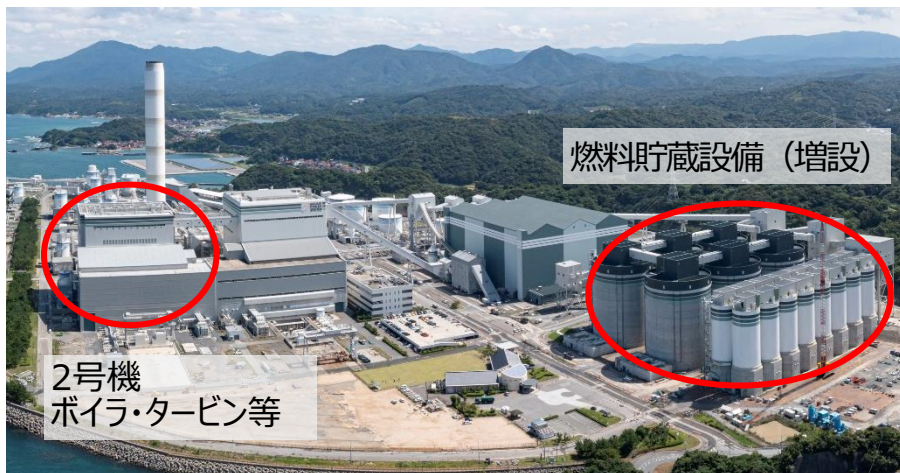
効率化額	主な取り組み
350億円程度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三隅2号機運転開始に伴う燃料費の低減 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 最新技術およびバイオマス混焼を採用した三隅発電所2号機の営業運転開始（2022年11月予定）による燃料費低減 ■ 電力の安定供給を前提とした安価な燃料調達に資する継続的な取り組み <ul style="list-style-type: none"> ✓ 石炭・LNGの受け入れ品位の拡大、業務内製化による諸経費削減 など ■ 総人件費の抑制 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 役員報酬の30%程度の減額、賃金・賞与水準の減額を継続 ✓ 在籍人員数の削減 ■ 経年火力発電所の廃止による固定費削減 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 2020年6月 岩国発電所を廃止 ✓ 2022年5月 水島発電所2号機、下松発電所3号機、下関発電所1・2号機を廃止決定 ■ 資機材・役務調達コスト低減による効率化

2. 電源設備形成・運用の効率化

- 最新技術およびバイオマス混焼を採用した三隅発電所2号機を導入し、経年火力発電所を代替することで経済性・環境性に優れた電源構成を構築していきます。
- 既設発電所においても、出力の向上等を実施し、より柔軟性のある運用を実現することで電力の安定供給に努めます。
- 安全確保を大前提とした原子力発電所の早期稼働に加え、2030年度までに再生可能エネルギーを30～70万kW新規導入し、非化石電源比率を高めていきます。

三隅発電所2号機の運転開始

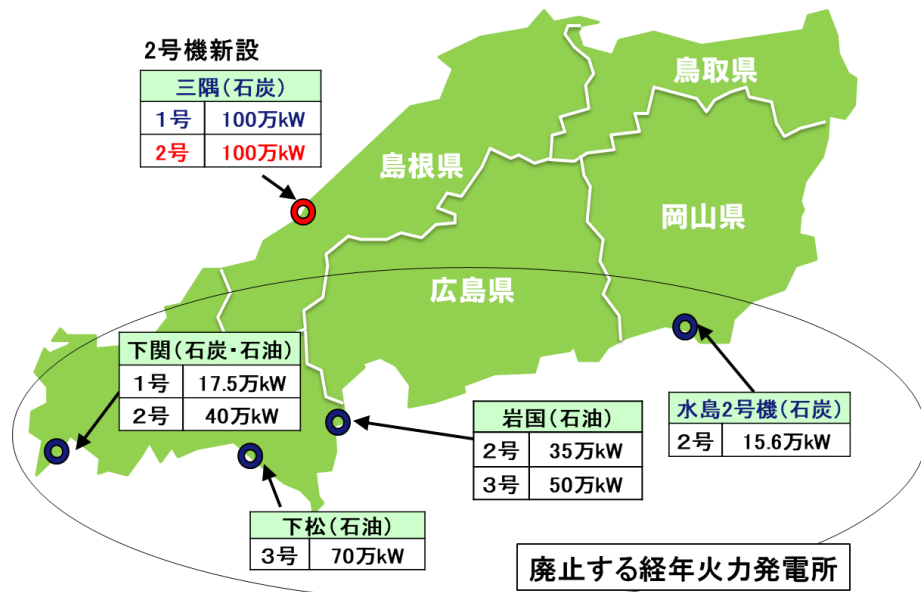
- 2022年11月からの営業運転開始を予定している三隅2号機は、利用可能な最良の発電方式である超々臨界圧（USC）を採用し、経済性、環境性に優れた設備にするとともに、1号機の運転実績により得られた知見を適用することで運転信頼性の向上を図っています。また、バイオマス燃料との混焼（混焼率10%程度）により、更なるCO₂排出抑制にも努めていきます。



三隅発電所全景

経年火力発電所の廃止

- 2020年6月に岩国発電所を廃止
- 2022年5月には水島発電所2号機、下松発電所3号機および下関発電所1・2号機の廃止を決定

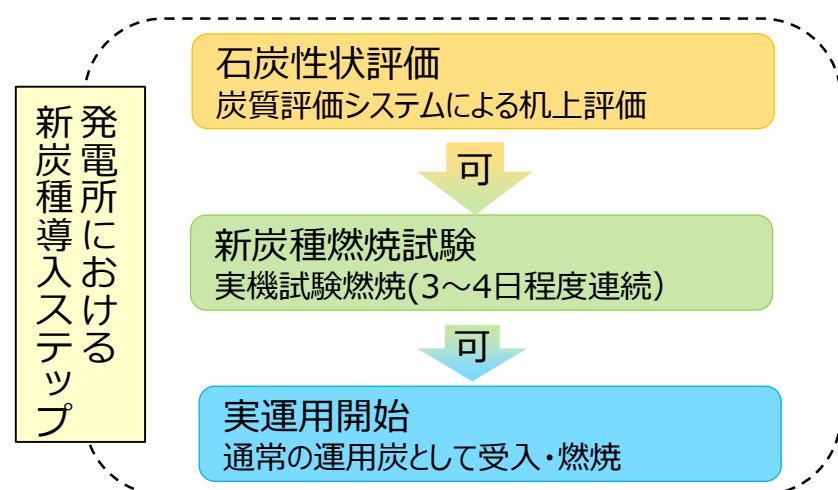


廃止する経年火力発電所

3. 燃料調達効率化

- 低廉かつ柔軟な燃料調達を目指し、燃料調達部門と発電部門が連携し、「品位」、「調達先」、「調達時期」、「契約形態」等の多様化に不断に取り組み、燃料所要量の変動に機動的に対応するとともに、燃料調達のさらなる経済性・柔軟性の確保に努めています。
- 石炭については、燃焼安定性や環境基準への適合性の確認を十分に行うことが必要であり、これまでの運転実績を基礎とした事前の机上評価と実際の燃焼試験を踏まえ、新炭種の導入拡大に努めています。
- LNGについては、軽質LNG導入に必要なガスタービン燃焼器や払出設備の改造工事などを実施し、調達先拡大、経済性の確保に努めています。

利用拡大の取り組み（石炭）



主な評価項目

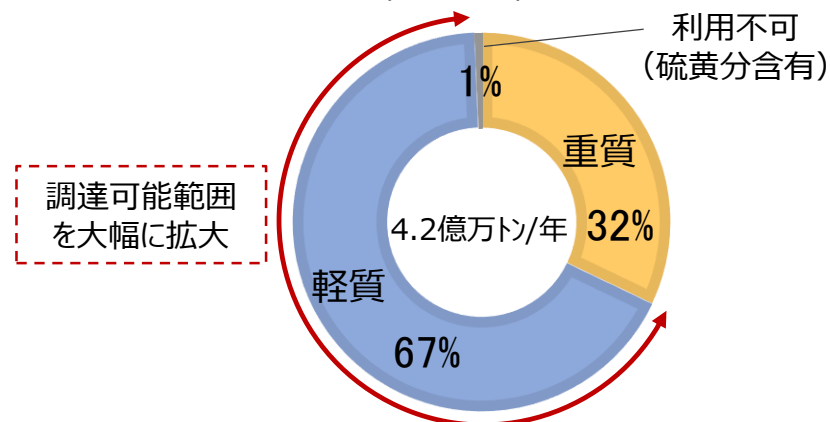
- ボイラ・ミル：燃焼安定性、灰付着影響、負荷追従等
- 排ガス性状：SOx、NOx、ばいじん等
- 揚運炭設備：ハンドリング性、付着炭・異物有無等
- 灰処理設備：ホッパ詰り・塊の有無等
- 排水処理設備：排水(微量物質等)処理状況等

利用拡大の取り組み（LNG）

- 当社が従来利用していたLNGに比べて単位容積あたりの熱量の低いシェールガスなどの軽質LNG利用を可能とすることで、調達可能範囲を大幅に拡大
- 導入に際しては、ガスタービン燃焼器更新や送液ポンプ制御改造、貯蔵タンク内の密度差対応などの対策を実施

【LNGプラント生産容量割合】

※商社等聞き取り情報を用いて作成



4. 人件費の効率化

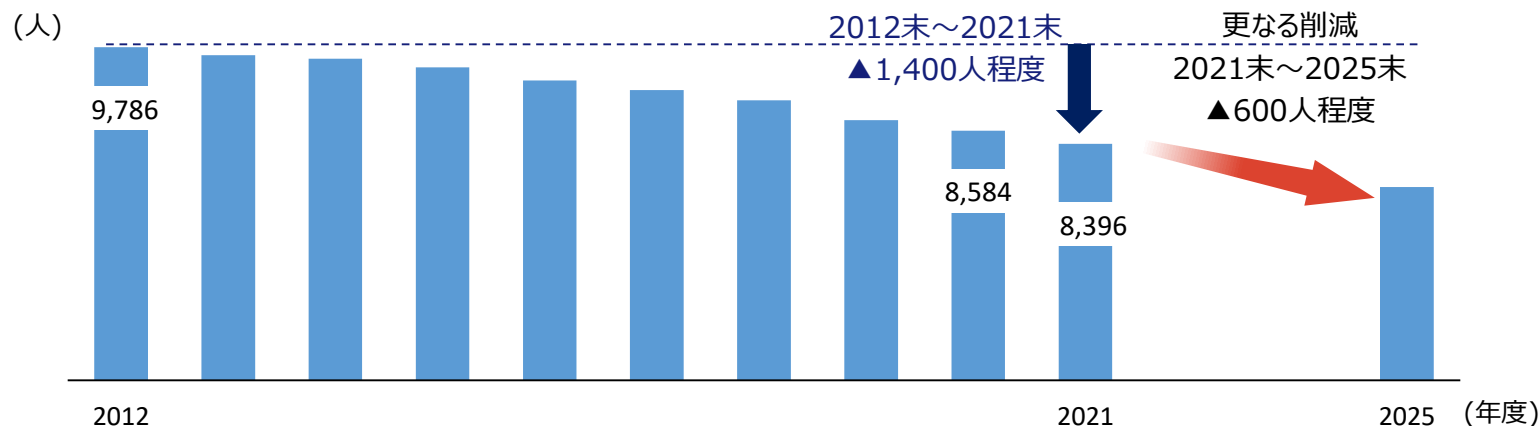
- 適切な業務品質の確保を前提に、総人件費抑制の観点から、早期退職の実施や採用数の抑制などによる在籍人員数の削減に、継続的に取り組んでいます。
- また、役員報酬を30%程度減額するとともに、社員の月例賃金の引き下げや賞与水準の減額を継続するなど社員年収水準の抑制に加え、社宅・寮、保養所の廃止や今日的視点を踏まえた人事労務諸制度の見直しなど、人件費全般の抑制に努めています。

項目	具体的取り組み事例
在籍人員数の削減	転進支援制度「特別措置」（早期退職）の実施 業務効率化および退職者数等を踏まえた採用計画の策定
役員報酬の減額 賃金・賞与水準の抑制	役員報酬の30%程度の減額 賃金制度見直しによる月例賃金の引き下げ、賞与水準の減額を継続
厚生費等の削減	社宅・寮の一部廃止、保養所（鳥取荘・松江荘・岡山荘）の廃止、共済会制度の廃止、社宅料算定基準の見直し等

在籍人員数*の削減状況

※ 人員数は中国電力+中国電力ネットワーク合計値

- 毎年400人程度の定年退職者等が見込まれる中、採用数220人程度を据え置くことで、在籍人員数は、2025年度末までに▲600人程度となる見通しです。



5. 業務運営・保有資産のスリム化

- 効率的な業務運営体制を構築するため、業務の集中化や組織の統廃合を進めるとともに、組織・体制を強化し、カーボンニュートラルやDX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みを進めています。
- また、遊休不動産・有価証券の売却を進めるなど、保有資産のスリム化に取り組んでいます。

項目	取り組み事例	具体的内容	年度
業務の集中化	料金センターの設置	料金業務の一部を集中処理化および委託化	2017
	調達本部への集約	各県資材組織の工事契約業務を集中処理化および委託化	2019
	統括セールスセンター（一部）への集約	新增設工事受付業務の集中処理化	2022
組織の統廃合	本社内組織の統廃合	本社内組織を統廃合し、組織・要員を効率化	2016他
	火力発電所の運用・保修体制の見直し	運用・保修体制を再編し、組織・要員を効率化	2017
組織・体制の強化	カーボンニュートラル推進本部の新設・情報通信部門をデジタルイノベーション本部へ改組	本社内組織を改編し、組織・体制を集約化	2022

遊休不動産の売却

- 積極的に遊休不動産の売却を進めています。

2016年度以降の売却実績

売却件数	売却額
約59件	21億円

有価証券の売却（上場分）

- コーポレートガバナンス・コードも踏まえ、政策保有株式の縮減に取り組むとともに、非上場株式についても保有意義を検証の上、資産のスリム化を実施しています。



(参考) 2021年度の経営効率化実績額

- 2021年度は、中国電力個別において、設備投資170億円、費用268億円の経営効率化を実現しました。
- 競争発注の拡大、効果的な発注方式の採用等による資機材・役務調達の効率化をはじめ、投資・費用全般にわたり効率化の取り組みを徹底しています。

【中国電力個別の費用に係る経営効率化額】

項目	効率化額	主な取り組み
燃料費・ 他社購入電力料	130 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・石炭・LNGの受け入れ品位の拡大 ・業務内製化等による諸経費削減 ・他社購入電源の固定費削減 等
人件費	21 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍人員数の削減 ・諸手当・福利厚生制度等の見直し ・賃金・賞与水準の減額継続 等
修繕費	82 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・競争発注の拡大等による資機材・役務調達の効率化 ・設計・施工方法の合理化 等
その他経費	35 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・競争発注の拡大等による資機材・役務調達の効率化 ・業務運営の効率化 等
費用計	268 億円	
(再掲) 高圧・特別高圧相当	170億円程度	高圧・特別高圧の電気料金に相当する経営効率化額



電 気 料 金 単 価 表

(2023年4月1日実施)

中国電力株式会社

【高圧のお客さま】

○事務所ビル、病院、商業施設などのお客さまを対象としたメニュー

契約種別	区分		単位	現行の 料金単価	見直し後の 料金単価	値上げ幅	
業務用電力	基本料金		1kW	1,732円50銭	1,996円50銭	+264円00銭	
	電力量料金	夏季	1kWh	26円86銭	31円32銭	+4円46銭	
		その他季	1kWh	25円63銭	29円88銭	+4円25銭	
業務用TOU	基本料金		1kW	1,732円50銭	1,996円50銭	+264円00銭	
	電力量料金	ピーク時間	1kWh	31円57銭	36円37銭	+4円80銭	
		昼間時間	夏季	1kWh	28円36銭	32円65銭	+4円29銭
			その他季	1kWh	27円54銭	31円59銭	+4円05銭
		夜間時間	1kWh	22円39銭	26円91銭	+4円52銭	
臨時電力	基本料金		1kW	(※1)	(※1)	—	
	電力量料金	夏季	1kWh	29円58銭	37円58銭	+8円00銭	
		その他季	1kWh	28円18銭	35円86銭	+7円68銭	
自家発補給電力A	基本料金		1kW	(※2)	(※2)	—	
	電力量料金	夏季	1kWh	28円14銭	34円45銭	+6円31銭	
		その他季	1kWh	26円80銭	32円87銭	+6円07銭	

(注) 料金単価には、消費税等相当額を含みます。

現行の料金単価には2022年11月分の燃料費調整単価を含みます。

自家発補給電力の料金単価は、定期検査または定期補修による場合のものです。

(※1) 業務用電力の基本料金を20%割増ししたものを適用します。

(※2) 業務用電力の基本料金を10%割増ししたものを適用します。

【高圧のお客さま】

○工場などのお客さまを対象としたメニュー

契約種別	区分		単位	現行の 料金単価	見直し後の 料金単価	値上げ幅	
高圧電力A	基本料金		1kW	1,243円00銭	1,507円00銭	+264円00銭	
	電力量料金	夏季	1kWh	27円43銭	31円89銭	+4円46銭	
		その他季	1kWh	26円15銭	30円40銭	+4円25銭	
高圧電力B	基本料金		1kW	1,732円50銭	1,996円50銭	+264円00銭	
	電力量料金	夏季	1kWh	25円27銭	29円73銭	+4円46銭	
		その他季	1kWh	24円18銭	28円43銭	+4円25銭	
高圧TOUA	基本料金		1kW	1,243円00銭	1,507円00銭	+264円00銭	
	電力量料金	ピーク時間	1kWh	33円52銭	38円32銭	+4円80銭	
		昼間時間	夏季	1kWh	29円98銭	34円27銭	+4円29銭
			その他季	1kWh	28円80銭	32円85銭	+4円05銭
		夜間時間	1kWh	22円39銭	26円91銭	+4円52銭	
高圧TOUB	基本料金		1kW	1,732円50銭	1,996円50銭	+264円00銭	
	電力量料金	ピーク時間	1kWh	29円38銭	34円18銭	+4円80銭	
		昼間時間	夏季	1kWh	26円55銭	30円84銭	+4円29銭
			その他季	1kWh	25円45銭	29円50銭	+4円05銭
		夜間時間	1kWh	22円39銭	26円91銭	+4円52銭	
臨時電力 (契約電力500kW未満)	基本料金		1kW	(※3)	(※3)	—	
	電力量料金	夏季	1kWh	30円15銭	38円27銭	+8円12銭	
		その他季	1kWh	28円79銭	36円48銭	+7円69銭	
臨時電力 (契約電力500kW以上)	基本料金		1kW	(※4)	(※4)	—	
	電力量料金	夏季	1kWh	27円66銭	35円68銭	+8円02銭	
		その他季	1kWh	26円44銭	34円12銭	+7円68銭	
自家発補給電力B (契約電力500kW未満)	基本料金		1kW	(※5)	(※5)	—	
	電力量料金	夏季	1kWh	28円75銭	35円08銭	+6円33銭	
		その他季	1kWh	27円36銭	33円44銭	+6円08銭	
自家発補給電力B (契約電力500kW以上)	基本料金		1kW	(※6)	(※6)	—	
	電力量料金	夏季	1kWh	26円40銭	32円70銭	+6円30銭	
		その他季	1kWh	25円21銭	31円27銭	+6円06銭	

(注) 料金単価には、消費税等相当額を含みます。

現行の料金単価には2022年11月分の燃料費調整単価を含みます。

自家発補給電力の料金単価は、定期検査または定期補修による場合のものです。

(※3) 高圧電力Aの基本料金を20%割増ししたものを適用します。

(※4) 高圧電力Bの基本料金を20%割増ししたものを適用します。

(※5) 高圧電力Aの基本料金を10%割増ししたものを適用します。

(※6) 高圧電力Bの基本料金を10%割増ししたものを適用します。

【特別高圧のお客さま】

○事務所ビル、病院、商業施設などのお客さまを対象としたメニュー

契約種別		区分		単位	現行の 料金単価	見直し後の 料金単価	値上げ幅	
特別高圧電力A	20kV	基本料金		1kW	1,710円50銭	1,842円50銭	+132円00銭	
		電力量料金	夏季	1kWh	23円86銭	28円01銭	+4円15銭	
			その他季	1kWh	22円85銭	26円81銭	+3円96銭	
	60kV	基本料金		1kW	1,694円00銭	1,826円00銭	+132円00銭	
		電力量料金	夏季	1kWh	23円75銭	27円90銭	+4円15銭	
			その他季	1kWh	22円76銭	26円72銭	+3円96銭	
特別高圧TOUA	20kV	基本料金		1kW	1,710円50銭	1,842円50銭	+132円00銭	
		電力量料金	ピーク時間		1kWh	26円84銭	31円37銭	+4円53銭
			昼間時間	夏季	1kWh	24円43銭	28円55銭	+4円12銭
				その他季	1kWh	23円65銭	27円54銭	+3円89銭
			夜間時間		1kWh	21円50銭	25円55銭	+4円05銭
	60kV	基本料金		1kW	1,694円00銭	1,826円00銭	+132円00銭	
		電力量料金	ピーク時間		1kWh	26円69銭	31円22銭	+4円53銭
			昼間時間	夏季	1kWh	24円31銭	28円43銭	+4円12銭
				その他季	1kWh	23円55銭	27円44銭	+3円89銭
			夜間時間		1kWh	21円40銭	25円45銭	+4円05銭
	臨時電力	20kV	基本料金		1kW	(※7)	(※7)	—
			電力量料金	夏季	1kWh	25円98銭	33円61銭	+7円63銭
その他季				1kWh	24円88銭	32円17銭	+7円29銭	
60kV		基本料金		1kW	(※7)	(※7)	—	
		電力量料金	夏季	1kWh	25円85銭	33円48銭	+7円63銭	
			その他季	1kWh	24円75銭	32円06銭	+7円31銭	
自家発補給電力A	20kV	基本料金		1kW	(※8)	(※8)	—	
		電力量料金	夏季	1kWh	24円89銭	30円81銭	+5円92銭	
			その他季	1kWh	23円80銭	29円49銭	+5円69銭	
	60kV	基本料金		1kW	(※8)	(※8)	—	
		電力量料金	夏季	1kWh	24円77銭	30円69銭	+5円92銭	
			その他季	1kWh	23円69銭	29円39銭	+5円70銭	

(注) 料金単価には、消費税等相当額を含みます。

現行の料金単価には2022年11月分の燃料費調整単価を含みます。

自家発補給電力の料金単価は、定期検査または定期補修による場合のものです。

(※7) 特別高圧電力Aの基本料金を20%割増ししたものを適用します。

(※8) 特別高圧電力Aの基本料金を10%割増ししたものを適用します。

【特別高圧のお客さま】

○工場などのお客さまを対象としたメニュー

契約種別		区分		単位	現行の 料金単価	見直し後の 料金単価	値上げ幅	
特別高圧電力B	20kV	基本料金		1kW	1,710円50銭	1,842円50銭	+132円00銭	
		電力量料金	夏季	1kWh	23円14銭	27円29銭	+4円15銭	
			その他季	1kWh	22円21銭	26円17銭	+3円96銭	
	60kV	基本料金		1kW	1,694円00銭	1,826円00銭	+132円00銭	
		電力量料金	夏季	1kWh	23円02銭	27円17銭	+4円15銭	
			その他季	1kWh	22円10銭	26円06銭	+3円96銭	
	100kV	基本料金		1kW	1,661円00銭	1,793円00銭	+132円00銭	
		電力量料金	夏季	1kWh	22円84銭	26円99銭	+4円15銭	
			その他季	1kWh	21円93銭	25円89銭	+3円96銭	
特別高圧TOUB	20kV	基本料金		1kW	1,710円50銭	1,842円50銭	+132円00銭	
		電力量料金	ピーク時間		1kWh	25円98銭	30円51銭	+4円53銭
			昼間時間	夏季	1kWh	23円71銭	27円83銭	+4円12銭
				その他季	1kWh	22円70銭	26円59銭	+3円89銭
			夜間時間		1kWh	21円50銭	25円55銭	+4円05銭
	60kV	基本料金		1kW	1,694円00銭	1,826円00銭	+132円00銭	
		電力量料金	ピーク時間		1kWh	25円84銭	30円37銭	+4円53銭
			昼間時間	夏季	1kWh	23円59銭	27円71銭	+4円12銭
				その他季	1kWh	22円58銭	26円47銭	+3円89銭
			夜間時間		1kWh	21円40銭	25円45銭	+4円05銭
	100kV	基本料金		1kW	1,661円00銭	1,793円00銭	+132円00銭	
		電力量料金	ピーク時間		1kWh	25円58銭	30円11銭	+4円53銭
昼間時間			夏季	1kWh	23円38銭	27円50銭	+4円12銭	
			その他季	1kWh	22円40銭	26円29銭	+3円89銭	
夜間時間			1kWh	21円26銭	25円31銭	+4円05銭		
臨時電力	20kV	基本料金		1kW	(※9)	(※9)	—	
		電力量料金	夏季	1kWh	25円14銭	32円75銭	+7円61銭	
			その他季	1kWh	24円10銭	31円40銭	+7円30銭	
	60kV	基本料金		1kW	(※9)	(※9)	—	
		電力量料金	夏季	1kWh	24円98銭	32円60銭	+7円62銭	
			その他季	1kWh	23円94銭	31円27銭	+7円33銭	
	100kV	基本料金		1kW	(※9)	(※9)	—	
		電力量料金	夏季	1kWh	24円76銭	32円39銭	+7円63銭	
			その他季	1kWh	23円76銭	31円07銭	+7円31銭	
自家発補給電力B	20kV	基本料金		1kW	(※10)	(※10)	—	
		電力量料金	夏季	1kWh	24円11銭	30円02銭	+5円91銭	
			その他季	1kWh	23円10銭	28円79銭	+5円69銭	
	60kV	基本料金		1kW	(※10)	(※10)	—	
		電力量料金	夏季	1kWh	23円98銭	29円89銭	+5円91銭	
			その他季	1kWh	22円98銭	28円67銭	+5円69銭	
	100kV	基本料金		1kW	(※10)	(※10)	—	
		電力量料金	夏季	1kWh	23円79銭	29円69銭	+5円90銭	
			その他季	1kWh	22円79銭	28円48銭	+5円69銭	

(注) 料金単価には、消費税等相当額を含みます。

現行の料金単価には2022年11月分の燃料費調整単価を含みます。

自家発補給電力の料金単価は、定期検査または定期補修による場合のものです。

(※9) 特別高圧電力Bの基本料金を20%割増ししたものを適用します。

(※10) 特別高圧電力Bの基本料金を10%割増ししたものを適用します。